

水稲奨励品種「つや姫」

古川農業試験場

1 取り上げた理由

宮城県の南部平坦地帯を中心とした平坦地帯及び仙台湾沿岸地帯では、晩生の奨励品種として「コシヒカリ」が、中生の奨励品種として「ひとめぼれ」が主に作付けされているが、「コシヒカリ」は倒伏により、また、「ひとめぼれ」は高温登熟により、玄米品質が低下し易い状況となっている。

「つや姫」は晩生の良質・良食味品種であり、また、短稈で耐倒伏性に優れていることから宮城県の奨励品種に採用されたので、普及技術とする。

2 普及技術

1) 来歴

「つや姫」は、山形県農業総合研究センター水田農業試験場（旧農業生産技術試験場庄内支場）において、晩生の良質・良食味品種の育成を目標に、「山形70号」を母、「東北164号」を父として、1998年に人工交配を行い、選抜・育成された品種である。

2) 特性の概要

- a 「コシヒカリ」より出穂期及び成熟期は1～2日程度早く、宮城県での早晚性は“極晩生”である(表1)。
- b 「コシヒカリ」と比べて稈長は15～20cm程度短く、耐倒伏性は“やや強”と「コシヒカリ」より強い(表1, 図1)。
- c 障害型耐冷性は「コシヒカリ」より弱く“中”である(表1)。
- d いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pii, k*型と推定され、ほ場抵抗性は葉いもち“強”，穂いもち“不明”である(表1)。
- e 穂発芽性は“中”である。
- f 収量性は「コシヒカリ」と同程度かやや優り、玄米千粒重は同程度である(表1)。
- g 玄米の外観品質は「コシヒカリ」に優る(表1)。
- h 食味は、「コシヒカリ」と同程度かやや優る(表1, 表2)。

3) 対象地域等

- a 普及見込み地帯 南部平坦地帯を中心とした平坦地帯及び仙台湾沿岸地帯
- b 普及見込み面積 1,000ha

3 利活用の留意点

- 1) 障害型耐冷性が“中”であるので、減数分裂期の低温時には深水管理を実施する。
- 2) 穂発芽性が“中”であるので、刈り取り適期を迎えたら速やかに収穫する。
- 3) 穂いもちほ場抵抗性が“不明”であるので、適期防除を行う。

(問い合わせ先：古川農業試験場水田利用部 電話0229-26-5106)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

古川農業試験場水田利用部 水稲奨励品種決定調査 平成16～20年度

2) 参考データ

表1 特性一覧表

品 種 名		つや姫	交配組合せ		山形70号／東北164号		
特 性	性	長所 1. 短稈で耐倒伏性に優れる。 2. 玄米の外観品質が優れる。 3. 炊飯米の光沢，白さが優れ，良食味である。 4. 中生との組み合わせで収穫期間が拡大できる。 短所 1. 障害型耐冷性が“中”である。 2. 穂発芽性が“中”である。					
調 査 地		宮城県古川農業試験場			現地（角田，亶理，若柳）		
調 査 年 次		標肥 2006～2008年			2007～2008年		
品 種 名		つや姫	コシヒカリ	ひとめぼれ	つや姫	コシヒカリ	ひとめぼれ
早 草	晩 性 型	極晩生 中間型	極晩生 中間型	中生の晩 偏穂数型	極晩生 中間型	極晩生 中間型	中生の晩 偏穂数型
出穂期（月日）		8.19	8.20	8.10	8.15	8.17	8.07
成熟期（月日）		10.06	10.06	9.26	9.29	10.01	9.20
稈長（cm）		76.7	95.0	80.1	76.5	92.9	82.2
穂長（cm）		16.8	17.7	17.7	17.2	17.8	18.4
穂数（本/m ² ）		407	404	451	429	410	469
穂発芽性 ※		中	難	難	—	—	—
耐倒伏性 ※		やや強	弱	やや弱	—	—	—
耐冷性 ※		中	極強	極強	—	—	—
耐病性	いもち				—	—	—
	真性 ※	<i>Pii, k</i>	+	<i>Pii</i>	—	—	—
	葉 ※	強	弱	やや弱	—	—	—
	穂 ※	不明	弱	中	—	—	—
玄 米	収量（kg/a）	56.6	56.0	56.5	53.7	51.7	55.5
	収量対（%）	101	100	101	104	100	107
	千粒重（g）	22.5	22.3	23.1	21.9	21.7	22.8
玄 米 品 質		上の中	上の中	上の中	上の中	上の中	上の中
食 味		上の中	上の中	上の中	上の中	上の中	上の中

注) ※印は，育成地及び特性検定地における評価。表中のデータは，全調査年数分の平均値。

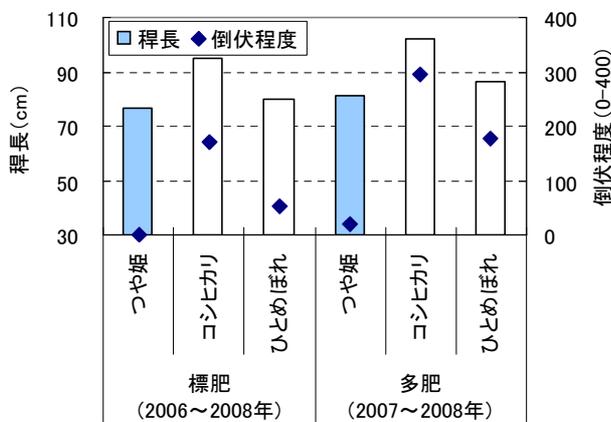


図1 稈長及び倒伏程度(古川農業試験場)

注) 倒伏程度は，0(無倒伏)～4(完全倒伏)の面積比率。

3) 発表論文等 なし

表2 「つや姫」における食味官能試験結果

場所	年次	品種名	味	粘り	総合
古川 農試	2007～ 2008年	つや姫	-0.3 **	-0.4 **	-0.2
		つや姫	0.0	-0.1	0.0
現地 調査	2007～ 2008年	つや姫	-0.2 **	-0.3 **	-0.3 **
		コシヒカリ	-0.2 **	-0.3 **	-0.3 **

注1) 食味は，基準品種との差を+3(良)～-3(不良)で示した。
 対応のある平均値の差の検定結果。(**;危険率1%)
 注2) 試食回数は，古川農試4回，現地調査(角田，亶理，若柳)
 各2回の計6回。
 注3) 基準品種は，古川農試産「コシヒカリ」。